

日常の清掃とメンテナンス

清掃

※清掃には中性洗剤以外の薬品を使用しないでください。

[本体]

- 清掃時はまず背面の主電源スイッチをオフ(○)にします。
- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤で湿らせた布を固く絞り、汚れを拭き取ってください。

※このとき、電源プラグ部、スイッチ部などに水が付着しないようご注意ください。水が付着すると故障や事故の原因になります。

[ハンドピース]

- ハンドピースを清掃するとき、照射面は、アルコールを浸した柔らかい布で拭き、常に清潔に保ってください。
- 照射面以外は本体と同様、水または水で薄めた中性洗剤で湿らせた布を固く絞り、汚れを拭き取ってください。

[ハンドピースケーブル]

- ハンドピースケーブルを清掃するときは、本体と同様、水または水で薄めた中性洗剤で湿らせた布を固く絞り、汚れを拭き取ってください。
- ※このとき、ケーブルを強く引っ張ったり、小さく曲げたりしないように。故障の原因となります。

[ハンドピースの発注]

ディスプレイのカウン트가**175000発**になったら本部に発注をお願いいたします。

※メーカー発送となりますので、年末年始、お盆など長期休暇と重なる場合は、早めに発注をかけてください。

保管上のご注意

- ハンドピース光照射面の保護
光照射面は破損しやすいので保管中、他の物に接触しないよう照射面を保護してください。
- ハンドピースケーブルの保護
ハンドピースケーブルを強く曲げないように注意してください。コネクタ部分にはコネクタカバーを含めビニール袋等を被せ、コネクタ・チューブに、ほこりや異物が入らないように注意してください。

重要

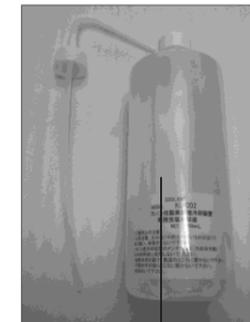
空気吸入フィルター

週1回、空気吸入フィルターカバーの上から電気掃除機で空気フィルターに付着したホコリを取り除いてください。

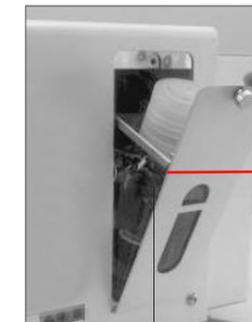


冷却液の点検と補充

- 本体側面の冷却液点検窓から、冷却液が規定レベルまであるか確認してください。不足している場合は、側面カバーを開け、冷却液タンクの蓋を開け、専用冷却液を補充してください。
※このとき、ホコリやゴミがタンク内に入らないように注意してください。
- 冷却液を規定レベル以上に入れないでください。冷却液があふれて感電や故障の原因になります。
※冷却液は必ず専用冷却液を補充してください。専用冷却液以外のものをご使用になり故障が起きた場合、保証の対象になりませんのでご注意ください。



専用冷却液



冷却液タンク

残っている冷却水を、取り除く際は、スポイトを使用していただくときれいに取り除けます。

※冷却水は、古くなると酸化して酸っぱいにおいになるので補充する前に、タンク内に残っている冷却水を確認してから補充する。
もし、確認してにおいが怪しい場合は、タンク内を処分してから、補充する。

空気吸入フィルターカバー掃除、冷却水の補充確認を行わないと、本体の負担となり故障・フィルター交換になる恐れがあります。

※交換用フィルターは付属されていないので、メーカー依頼となります。(別売り)
※お客様のご利用環境によっては、定期的な交換をおすすめします。